

令和6年度 秋田県立矢島高等学校
第1回学校運営協議会 議事録

【日時・場所】

令和6年7月3日（水） 14：15～15：15

秋田県立矢島高等学校 大会議室

【出席者】

1 学校運営協議会委員

大井 永吉	【天寿酒造株式会社代表取締役社長】
庄司 嘉政	【矢島高等学校元PTA会長】
佐々木正純	【矢島スポーツ協会会長、法華宗寿慶寺住職】
佐藤 俊弘	【矢島高等学校拓道同窓会会長】
三浦 秀人	【矢島まちづくり協議会会長】
滝野由紀夫	【元由利本荘市役所矢島総合支所長】
真坂 伸子	【矢島保育園園長】
大庭 良久	【矢島小学校校長】
東海林俊介	【矢島中学校校長】
藤原 淳	【矢島高等学校校長】

2 矢島高等学校 [事務局]

関屋亜生以	【教頭】
内田 隆仁	【事務長】
高橋 晃二	【教諭（総務部主任・WG1委員長）】
佐藤 久男	【教諭（教務部主任）・WG3委員長】
土田 伸也	【教諭（商業科主任・YBP担当・WG2委員長）】
黒木 育子	【教諭（進路指導主事）】
黒木 仁美	【養護教諭（保健主事）】

【議事概要】

1 開会

2 校長あいさつ

今年度でコミュニティ・スクールは7年目となります。これまで地域の皆様には物心両面に渡り多大なご支援をいただいております、心より感謝申し上げます。今年度は、1年生22名、2年生12名、3年生19名、全校生徒53名でスタートしました。新年度が始まり3か月が経ち、3年生1名が転校し、現在は52名となっています。SNS利用に関するトラブルが生じ、学校として指導をすることがありました。担任の先生方が迅速に対応し、保護者の理解を得て、改善が見られています。体育祭も無事に終了し、今は全体的に落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っています。天候が心配ですが、7月13日に鳥海山登山が予定されています。授業や行事の様子については、適宜HPに掲載しています。また、校長室から見える鳥海山を毎日HPで紹介しています。本日は、今年度の基本方針や教育計画に関する承認、年間計画の確認、ワーキンググループの顔合わせなどを予定しています。限られた時間ですが、よろしくお願いいたします。

3 出席者紹介

関屋教頭が、出席者を紹介した。

4 協議

(1) 会長及び副会長選出

藤原校長が議長として進行し、会長を大井委員、副会長を庄司委員とする事務局案が承認された。

(2) 会長あいさつ

7年間、会長を務めることになりました。高校の統廃合が新聞を賑わせていますが、矢島高校を存続させるためには、学校のイメージを変える必要があります。上の世代は古い学校のイメージを持っていますが、今はそうではありません。生徒に寄り添った教育をされていて、進学にも有利な学校であることなどを発信しようとして6年間話をしてきました。成果が出るとうれいと思いつつ、地元の人間として、協力していきたいと思つています。

(3) 矢島高等学校におけるコミュニティ・スクールについて

ここから大井会長が議長として進行し、藤原校長が、資料に基づき説明を行った。

(4) 学校状況説明

① 令和6年度学校運営方針について

藤原校長が、資料に基づき説明を行った。質疑応答を経て、令和6年度学校運営方針が承認された。

(質疑応答)

佐々木委員：矢島高校が地域校になるということは、廃校にはならないのか。

藤原校長：矢島高校という名称はなくなるが、校舎は残る。引き続き小中高が連携した、特色ある教育活動を進めることになる。

大井会長：地域校は分校と同じか。

藤原校長：分校のようなものと考えている。

庄司副会長：矢島高校の他に地域校はあるのか。

藤原校長：雄勝高校は、地域校化され、湯沢翔北高校雄勝校になった。西仙北高校も、地域校化案がある。

大井会長：学校名は、例えば、本荘高校矢島校のようになるのか。

藤原校長：イメージとしては、そのとおりである。この校舎から校長はいなくなるが、教頭は残る。整備計画は現時点では素案であり、令和8年3月に正式に策定される。令和8年度から地域校になることはない。

庄司副会長：PTA総会で承認された予算について、報告してもらいたい。

藤原校長：第2回運営協議会でお知らせする。

② 令和6年度学校運営協議会年間計画について
藤原校長が、資料に基づき説明を行った。

③ その他

関屋教頭が、4月からの学校状況、令和5年度卒業生の進路動向等について説明を行った。

5 諸連絡

内田事務長が、委員報酬について説明を行った。

6 閉会

※ 学校運営協議会終了後、各ワーキンググループでの協議を実施